

平成24年11月20日

授業者 三和 由奈

場所 家庭科室

1 題材名 じょうずに使おう 物やお金 (D 身近な消費生活と環境)

2 題材について

本題材では、物や金銭の使い方と買い物の仕方の学習を通して、家族の生活を支えている物や金銭の大切さへの関心を高め、物の選び方や買い方に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、計画的な金銭の使い方を考え、購入できる能力や実践的な態度を育てることをねらいとしている。

本学級の児童の多くは、毎日の家庭生活における金銭の使い方を具体的に認識できておらず、一人で買い物をするという経験も少ない。そのため、消費行動に対する気づきや認識も不足している現状である。

そこで、労働の対価としての収入によって、自分たちの家庭生活が支えられているという現実や、毎日の家庭生活にかかる支出の種類を具体的に知ることは、児童にとってたいへん重要なことであると考えた。

学習のはじめに、一週間を一万円で生活する体験ができるゲームを取り入れ、そのゲームを通して家庭生活における様々なお金の使い方に気付かせ、消費生活に対する児童の興味・関心を高める。その後、各家庭で調べてきた支出の種類を持ち寄り話し合うことで、家庭生活における支出の種類の多さをより具体的に知り、限られた収入の中での計画的な支出がいかに大切であるかを、実感を伴った理解につなげていきたい。それらの理解の上で、よりよい物の購入の仕方について考えさせ、多様な選択肢の中から買い物をするときの購入判断の観点に気づき、実生活の中でも生かしていくことができるようにしたい。

物の選び方や買い方をよく考えることは、お金を生かす上で大切なことであるだけでなく、物を作るのにかかった人々の労力や地球の資源、エネルギーを大切にすることにもつながる。小学校の家庭科学習における消費者教育は、児童の生涯における消費生活の基盤となる大切なものなので、丁寧に扱っていきたい。

3 児童の実態 (男 13名 女 18名 計 31名)

- 1 おこづかいはもらっていますか？ もらっている人は、金額に○をしましょう。
 はい 29名 月に ~500円 6名 ・ 500~1000円 4名
 1000円以上 6名 (平均1830円 最大3000円)
 ほしいとき その他(お手伝いした時10円~500円 8名 お年玉4名
 お菓子を買うとき 1名)
- いいえ 2名
- 2 おやつを買うときに、考えることに○をつけましょう。(いくつ○をつけてもかまいません。)
- 3 おこづかいで、買ったことがあるものを(たての表に)書きましょう。

	値段	必要かどうか	使いやすい	ほしいもの	デザイン	量	サイズ	おいしさ	品質のよさ	メカ	安全性	環境	何も考えない
おやつ	31	5	2	16	4	20	9	12	4	5	12	4	1
本	12	8	2	15	5	2	3		3	2			
ゲーム	10	7	5	8	5		2	1	2	2	3	1	
お土産	2			2	2	1	1	1	1				
文房具	11	9	7	5	10	2	1	1	4	1	1	1	1
カード	8	3		8					1	1		1	2
洋服	3		3	1	2		2		1	1			
CD	2	1	1	2						3			
プレゼント	4	3	1	1	4	1	1		2				
小物	3	2	1	2	3	1	2						

- 4 自分と家族のくらしを支えているものをかいてみましょう。
- | | | |
|--------------|------|--------------------------|
| 家 | 17名 | •やさしさ・あたたかさ・笑顔 |
| お金 | 14名 | 感情・食事・愛・言葉・絆・命・夢 |
| 食料 | 13名 | •くらしのきまりを守ること |
| 衣服 | 8名 | 相談したり、話したりコミュニケーションをとること |
| 家具(椅子 テーブル) | 5名 | 支え合う気持ち・思いやり |
| 家電製品(テレビ冷蔵庫) | 4名 | •喜び、悲しみ、怒りなどの感情 |
| 携帯電話 | } 3名 | |
| 電気・ガス | | |
| 空気 | | |
| 風呂 | | |

5 家庭の収入は何に使われているのでしょうか。

- ・食費 ・給食費 ・電気代 ・水道代 ・ガス代 ・習い事 ・町内会費 ・新聞費
- ・家ローン ・旅行代 ・家電 ・家具 ・衣料費 ・ペット関係
- ・通信費(携帯電話・パソコン)・貯金
- ・子どもの教育費 ・子どものお小遣い ・買い物や娯楽費 ・子どもの習い事の月謝代 ・趣味
- ・税金 ・医療費(薬や病院代) ・ガソリン ・文房具

〈考察〉

本校の学区内は、住宅地が多く、小売店、駄菓子屋、ショッピングモールが近隣にある。実態調査によると、小遣いとして決められた額を自由に使っている児童は多いが、その金額は 500 円前後のため、学用品や食料品を自分で購入している児童が少ない。ほとんどの児童は必要な物を親と一緒に買いに行っている。本やゲームなど、決まった選択肢の中から、物を購入することが多く、多くの選択肢の中から目的を考えて自由に選ぶという経験は少ない。また、自分で品物を選ぶ際にも、その判断の基になる品物の見方は、値段など限られた観点で購入している。家庭の支出については、様々なことに使われていることを認識している児童が多い。

そこで、購入の目的をはっきりさせ、品物に関する情報を集め、整理することによって、品物に関する情報収集の仕方や購入判断の観点などを広げたい。そして、金銭の計画的な使い方を考え購入できる能力や実践的な態度を育てていきたい。

4 題材の目標

- 家族の生活を支えているものや金銭の大切さへの関心をもち、計画的な使い方を考えて購入しようとしている。(家庭生活への関心・意欲・態度)
- 購入する物の品質や価格などの情報を集め、目的にあった物の買い方や選び方ができる。(創意工夫)
- 購入しようとする物の品質や価格などの必要な情報を集め、整理することができる。(生活の技能)
- 物や金銭が自分と家族の生活を支えていることから、限りある物や金銭を生かして使う必要性や方法が分かる。(知識・理解)

5 指導計画 (4 時間扱い)

主な学習活動	時配
・ゲームを通して、金銭の使い方に関心をもつ。	1
・自分の家では、金銭がどんなことに使われているか調べる。	課外
・調べてきたことを班内でまとめ、発表し、金銭が様々なことに使われていることや、有効に使うことの大切さに気付く。	1
・実物を用いて、購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め整理し、選択する。	1 (本時)
・どのようなことを考えて、物を購入しているかいろいろな観点があることに気付く。	1

6 評価規準

関心・意欲・態度	創意工夫	生活の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買い物をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

7 指導と評価の計画

時間	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法			
		家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
1	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活における金銭の使い方について関心を持つ。 ・「1週間で1万円生活」のゲームを行う。 	家庭生活には、様々な支出があり、使える金銭には限りがあることに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシートの記述 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ○物や金銭が自分たちの生活を支えていることを知り、その大切さや使い方に関心をもち。 ・家庭学習で調べてきた各家庭の支出について班で情報交換し、まとめる。 	自分の生活との関わりから、物や金銭の大切さに気付き、その使い方に関心をもっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 			限りある物や金銭の有効な使い方について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的にあった物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫しようとしていたりしている。 ・家族団らんのためのお菓子を選ぶ観点について考える。 ・情報を整理してお菓子を選ぶ。 ・選んだ理由を観点を示して説明する。 		お菓子の品質や価格などの情報を活用し、家族団らんに合ったお菓子の選び方について考えたり工夫したりしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシートの記述 	観点をもとにお菓子の情報を集め、整理することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 	

4	<p>○生活で使う身近な物や金銭の使い方を見直し、計画的な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まさるとめぐみのおこづかいを考えよう」のDVDを観て、問題点を話し合う。 ・自分の生活を振り返り、適切な物や金銭の使い方や、必要な物の購入の仕方について考える。 		<p>生活で使う身近な物や金銭の使い方を見直し、計画的な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 		<p>目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。</p>
---	---	--	---	--	---

8 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・購入しようとするものの品質や価格などの情報を集め、整理することができる。(技能)
- ・品質や価格などの情報を活用し、家族団らんにあったお菓子の選び方について考えたり、工夫したりしている。(創意工夫)

(2) 展開 (3/4)

時配	児童の活動	教師の指導○と評価◇	資料・教具
7分	<p>1 いろいろな種類のクッキーから、自分が購入したい物を選び、理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶入りクッキーがかわいいので缶入りを選びます。 ・食べたことのあるクッキーだから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈予想される観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段 ・量 ・賞味期限 ・好み ・見た目 ・これまでに食べたことがある ・CMで見たことがある ・包装 ・その他 </div>	<p>○様々なクッキーを提示し、どれを選ぶかを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈提示するクッキーの例〉 三和商店の品ぞろえ</p> <p>(1) 動物ビスケット(63g)110円 (2) バタークッキー(18枚)200円 (3) カントリーマアム (26枚 個包装)300円 (4) プチホワイトチョコ(47g)80円 (5) 缶入りクッキー(340g)500円</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・実物のクッキー ・クッキーの写真
10分	<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家族団らんのおかしを選ぶときには、どんなことを考えたらよいだろうか。</p> </div>		
	<p>3 自分の家に親戚がきて、団らんをするときには、どんなことを考えてクッキーを選んだらよいかを考え、理由とともにワークシートに記入する。</p>	<p>○自分の家族を想定させ、そこに祖父、おば、いとこ(幼児)などが来るという設定を知らせる。</p> <p>○ワークシートを拡大したもので</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・親戚の絵(画用紙)

	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキーを選ぶ観点を書く。 ・クッキーを選ぶ観点で優先したいものを赤で囲む。 ・自分の家族の団らんに合ったクッキーを選ぶ。 	<p>表の書き方を説明する。</p> <p>○値段だけで選んでいるような児童には、家族団らんで楽しく食べるためのクッキーを選ぶことを考えるように助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大したワークシート ・電卓
13分	<p>4 各自で選んだものと理由を班で交流し、買い方の観点を考える。</p> <p>(1)自分が選んだものと理由を話す。 (2)友だちの意見を聞いて、話し合う。 (3)班で買い方の観点をまとめ、画用紙に書く。</p>	<p>○一人ずつ選んだものと理由を話すようにさせる。その際、選ばなかった理由でもよいことを伝える。</p> <p>○買い方の観点や重視することが違う場合には、あえて一つにまとめなくても良いことを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班でまとめたことを記入する画用紙
10分	<p>5 班ごとに画用紙を見せながら、班で考えた買い方の観点を発表し、学級全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて選んだ方がいいと思った。 ・自分が思いつかなかったことを考えている班はすごい。値段だけじゃなくいろいろな考えて選んだ方がいいんだな。 	<p>○自分たちの考えと比較しながら聞くように助言する。</p> <p>○食物アレルギーや環境への配慮等、予想される観点が児童から出ない場合には、教師から補足説明をする。</p>	
5分	<p>6 本時の学習を振り返り、自分の考えをワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも値段しか考えていなかったが、家族と一緒に食べる時には、家族の好みやからだのこと、値段などを考えて選ぶ必要があることが分かった。 ・これからはどんなときに誰と食べるかなどを考えて選ぶようにしたい。 </div>	<p>○品質や価格などの情報を活用し、自分なりに選び方や買い方を考えたり工夫したりすることができた児童を賞賛する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇品質や価格などの情報を活用し、目的に合ったクッキーの選び方や買い方について考えたり、工夫したりすることができたか。 (創意工夫)</p> </div>	